

2024年11月22日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
(コード番号 8424 東証プライム)
代表取締役社長 織田 寛明

Green Carbon 株式会社との資本業務協定締結のお知らせ

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、Green Carbon 株式会社（東京都港区、代表取締役 大北潤、以下「Green Carbon」）と森林・農業分野におけるネイチャーベースのカーボンクレジット^{※1}を共同で創出することを目的とした資本業務協定（以下「本協定」）を締結致しましたのでお知らせいたします。

近年、地球規模の課題である気候変動問題の解決に向け脱炭素の機運が高まっており、日本を含む120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル実現」を表明し、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。また、カーボンニュートラルの実現に向けた有効な手段の一つとして、カーボンクレジットを活用したカーボン・オフセット^{※2}が注目されています。

Green Carbon は「生命の力で、地球を救う」をビジョンとして掲げ、国内、東南アジアを中心にカーボンクレジットの創出・販売支援事業を展開しています。国内では水田の中干し期間延長によるメタンガス削減プロジェクトや、森林経営、バイオ炭プロジェクトを実施しています。なかでも水田由来のクレジットは、2023年度日本初・最大規模で水田のJ-クレジットの認証を取得しており、2024年度も約10万トンのJ-クレジットの認証を予定しています。

また、東南アジアでは、15以上の省庁/州/自治体と連携し、水田の間断灌漑^{※3}（AWD : Alternate Wetting and Drying）実施を通じたメタンガス削減や、植林、マングローブ、バイオ炭のクレジット創出に取り組んでいます。J-クレジットに留まらず、ボランタリークレジット、JCM（2国間クレジット）など幅広く展開しています。

芙蓉リースと Green Carbon は、2024年9月より実施したフィリピンにおける水田由来のカーボンクレジット創出に向けた共同実証プロジェクトが切っ掛けとなり本協定の締結に至りました。本協定を通じ、Green Carbon の持つネイチャーベースのカーボンクレジット創出プロジェクトの開発に関するノウハウと、芙蓉リースが有する幅広い顧客基盤を掛け合わせることで、カーボンクレジット創出事業を拡大するとともに、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

芙蓉リースグループは、2022年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。

また、新たな領域への取り組みとして、今後立ち上がるマーケットやお客様の潜在的な課題に対する幅広い探索にも注力しております。新たな事業領域で価値を共有するパートナーとの共創等を通じ、豊かで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 カーボンクレジット

主に企業間で温室効果ガスの排出削減量を売買できる仕組みのこと。企業は環境活動によって生まれた温室効果ガスの削減量や吸収量をクレジット（排出権）の形で他の企業と取引することが可能となります。

※2 カーボン・オフセット

自身で削減しきれない分のCO₂の排出量を、他の場所で実現したCO₂排出削減分（クレジット）で埋め合わせをする枠組みです。

※3 間断灌漑

水田に水を満たした状態と、干した状態とを数日おきにくり返す水管理技術。土壌に酸素が供給され、メタン排出量が抑制される（メタン生成菌は酸素が少ない条件で活性化することから、灌漑水使用量とGHG排出量を同時に減らす技術として注目されています。

<関連プレスリリース>

「東南アジアにおける水田由来のカーボンクレジット創出に向けた共同実証プロジェクトについて」

2024.9.12 <https://ssl4.eir-parts.net/doc/8424/tdnet/2500738/00.pdf>

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）山崎・渡邊

電話番号 03（5275）8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>